

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成27年度事業分)

1 施設の概要

<b>施設名</b>	山梨県御勅使南公園	<b>所管課</b>	県土整備部 都市計画課
<b>所在地</b>	南アルプス市六科1588-2	<b>設置年月日 (改築年月日等)</b>	昭和61年11月1日
<b>指定管理者</b>	株式会社富士グリーンテック		
<b>設置根拠 (法律、条例等)</b>	都市公園法、山梨県都市公園条例		
<b>設置目的</b>	①以下に掲げる都市公園としての機能を発揮すること。 ・遊び、憩いの場を提供すること ・防災拠点としての機能を発揮していくこと ・良好な緑地景観、環境を提供すること ②スポーツの場を提供すること		
<b>主な施設内容 (定員等)</b>	○公園面積 35.4ha ○施設の内容 ・ラグビー場(34,000㎡、メイン・サブ2面) ・管理事務所(RC造平屋建、延床面積300㎡) ・遊具広場(25,000㎡) ・徒渉池(1,200㎡) ・疎林広場(4,280㎡) ・トリムコース(3,400㎡) ・その他(中央広場、緑地、園路広場、駐車場、駐輪場)		
<b>主な業務内容</b>	①公園施設及び設置器具等の維持保全 ②有料施設の利用承認 ③県が実施する大会等への協力		

2 類似施設・近隣施設

<b>名称 施設内容 利用状況等</b>	曾根丘陵公園、富士川クラフトパーク
------------------------------	-------------------

## 3 利用状況

単位：人、%

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度 (目標値)
利用者数	公園利用者数	193,785	221,045	254,525	
	有料施設利用者数	15,057	16,527	17,126	
	利用者数合計	208,842	237,572	271,651	
	目標値	188,000	202,000	246,000	278,000
	目標値設定の考え方及びその理由	過去3ヶ年の平均値を目標値とする。	過去3ヶ年の平均値を目標値とする。	H26年度の公園利用者数の4%増を目標とする。	H27年度の公園利用者数の3%増を目標とする。
	対25年度比	-	113.8%	130.1%	133.1%
利用率		572人/日	651人/日	742人/日	762人/日

## 4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成26年度	平成27年度 (計画値)	平成27年度 (実績値)	平成28年度 (計画値)
収入	施設利用料	580,050	813,000	675,380	864,000
	指定管理者委託料	78,549,000	79,961,000	79,961,000	78,629,000
	その他	1,328,960	750,000	1,335,000	1,200,000
	収入合計(A)	80,458,010	81,524,000	81,971,380	80,693,000
支出	人件費	20,078,733	20,388,000	20,627,290	20,388,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	59,530,837	61,136,000	60,839,964	60,305,000
	うち外部委託費(B)	22,226,633	22,000,000	22,133,122	22,000,000
	支出合計(C)	79,609,570	81,524,000	81,467,254	80,693,000
収支差額(A-C)		848,440	0	504,126	0
外部委託比率(B÷C)		27.9%	27.0%	27.2%	27.3%
利用者一人当たりの経費		330.6	325.0	294.4	282.8

## 5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成27年4月～平成28年3月 実施方法:公園利用者へのアンケート 回答数:150人(回収率:100%)
-------	---

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
樹木など状態	67.0%	31.0%	2.0%	0.0%
トイレや休憩所の清潔度	40.0%	48.0%	10.0%	2.0%
園路の機能	66.0%	29.0%	5.0%	0.0%
園内の情報や案内	54.0%	40.0%	5.0%	1.0%
園内の安全度	52.0%	44.0%	4.0%	0.0%
公園スタッフの対応	50.0%	49.0%	1.0%	0.0%
公園全般の満足度	75.0%	23.0%	2.0%	0.0%

利用者の意見	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 花壇を多く設置してほしい。</li> <li>2. 静寂な森林ゾーンにおいて、独り歩きが怖い。</li> <li>3. 駐車場を増やしてほしい。</li> <li>4. 子供用トイレを設置してほしい。</li> <li>5. ドッグランを設置してほしい。</li> <li>6. トイレがきれい。</li> <li>7. 体験型イベントを続けてもらいたい。</li> </ol>
利用者の意見への対応	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 園内の既設吸殻入れやゴミ箱をレイズドベッド花壇にして有効利用している。</li> <li>2. 県と協議中であり、防犯カメラ設置等を検討中。</li> <li>3. 大会やイベントで混雑が予想される時は、河川敷の一部を開放している。</li> <li>4. 県と協議中である。</li> <li>5. ラグビー場西側に設置を検討中。</li> <li>6. 一輪挿し等のおもてなしを継続中。</li> <li>7. 28年度より多目的ホールを無料開放して、様々な体験型教室を開催する。</li> </ol>

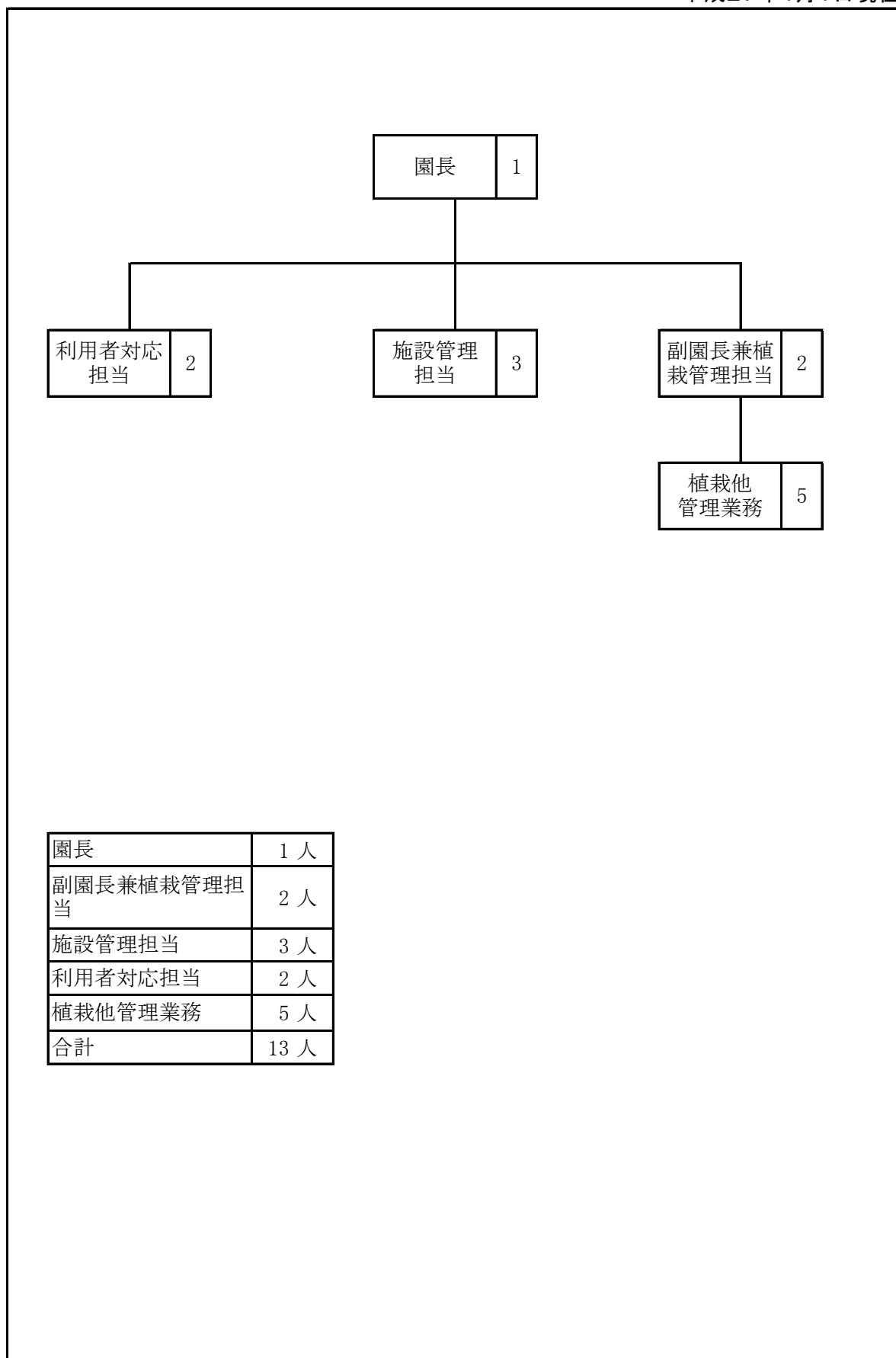
## 6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	施設の保守管理については日常点検等において経年劣化による不具合がないか注意し、必要に応じて利用禁止措置や計画的改善要望及び初期対応、順応型管理を心掛けています。清掃についても管理範囲に隣接する場所等はスタッフがボランティアで対応しています。	樹木医による診断を定期的に行い、病害の早期発見や順応型対応を行うことで、適切に維持管理業務を行っている。また、隣接地の清掃を実施することで、周辺環境の美化にも努めている。
運営業務	年中無休、フルタイムで巡回・巡視を行いながら利用者との距離を縮め、管理運営の『見える化』でリピーターを含む来園者の増加を継続させています。また新たな情報発信として、スマートフォン等の携帯端末に対応するため、SNSでの情報発信により閲覧者を増加させています。	事業計画書に沿った職員配置を行い、細かい箇所まで目が行き届く運営体制を整えている。また、これまでの広報活動にSNSを加えることで、利用者増加に努めている。清掃業務については、隣接する社会福祉村に委託することで、障害者の社会復帰支援に寄与している。
利用状況	運営理念である「健全な心と体づくりをサポートする場所づくり」を掲げ、様々な取り組みや意識改革を行ってきました。特に新たな公園価値の創出として、未利用地であった樹林地を利用したクロスカントリーコースでは、県外からの利用者も増え、当場所を利用した県の大イベントである山梨県クロスカントリー大会は、毎年大勢の参加者が募っています。	クロスカントリーコースについて、公園HPやSNS等の広報活動により認知度が高まっている。また、自社の強みを生かして管理している高水準の芝生のグラウンドを維持することで、利用者は着実に増加している。
収支状況	人件費については、計画通りの人員で運営。光熱水費はデマンド装置の設置でピーク電力を調整し抑制しています。維持管理は順応型管理による初期対応と予防管理を徹底し、長寿命化を図るという意識で日常管理等に励んでいます。さらに職員のマニュアル化されない即対応力の備えや常に利用者目線で見据える気づきの精神で運営しています。	ピーク電力値を抑制することで、電気料の削減に努めている。また、直営管理を強化することで、修繕費等の削減にも努めている。
自主事業	自主事業として開設したジョギングコースを利用したアスリート強化事業として他県からも注目される大イベントとして確立できている。また環境事業として行っている、今では毎年恒例となった自然学習教室の催しにより、弊社が掲げる運営理念に沿った公園利用の促進を図ることができました。	クロスカントリーコースの認知度は年々高くなっており、大会の開催が公園利用者の増につながっている。また、苗木の植付けやハーブを扱った教室等においても利用者から高評価であり、公園利用者の増につながっている。
利用者満足度	当公園の管理運営も10年が経過し、公園サービス全般では、概ね良い評価を頂いていると思います。今後も利用者目線で、気づきの心を持って、更なる利用者サービスの向上を目指してまいります。	高い評価を得ている。今後も適切な管理運営を行うことで高い満足度を維持出来るように努めること。

<p><b>運営目標の達成状況</b></p>	<p>運営目標の指標</p> <p>①来園者数 目標値 246,000人 → 実績値 271,651人</p> <p>②来園者数のうち有料公園施設利用者数 目標値 16,000人 → 実績値 17,126人</p> <p>リニューアルした遊戯ゾーンや自主整備したジョギングコースが県内外利用者に浸透した結果、平日の利用が増加しました。一方、新しい情報発信としてシステム構築したSNSを利用したサービスにより、公園情報が拡散され、県外からの利用者が多く訪れるようになり、入園者数は目標を大きく上回りました。また有料公園施設についても目標を上回りました。</p>
<p><b>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</b></p>	<p>昨年度リニューアルした公園のホームページに加え、SNSを活用することにより、クロスカントリーコースや高水準で芝の管理をしているグラウンド、多彩な遊具など公園の魅力を発信し、公園利用者の増加に努めている。</p> <p>今後も適切な維持管理運営を行い、各種教室などの自主事業を行うなかで、利用者の高い満足度を維持しつつ、更なる公園利用者の増加に努めること。</p>
<p><b>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</b></p>	<p>緑地維持管理においては、ゾーン毎にメリハリをつけた維持管理を行っています。事前予防と初期対応を重視し、残存する樹木や植物の生態環境を把握したなかで、快適な緑地環境を保持していきます。</p> <p>公園施設の老朽化対策については、全国で発生している老朽化施設が原因の事故等を踏まえ、自主点検強化と自主修繕による予防保全を徹底して、長寿命化を意識したなかで、補修改善または撤去更新等の対応をりながら安心・安全・快適な利用環境提供に努めています。</p> <p>多くの人々が様々な情報をスマートフォンで得る現在、SNSや公園WEBサイトを情報発信の重要なツールと位置づけ、こまめな更新によるタイムリーな情報提供を継続しながら情報の拡散を図ります。パークハウス、園内の施設、植生の更なる活用を目指し、地域で活躍する専門講師やボランティアの協力を得ながら魅力あるイベントを順次企画して、付加価値の向上と新規利用者の増加を目指します。</p>

7 管理体制(組織図)

平成27年4月1日現在



園長	1 人
副園長兼植栽管理担当	2 人
施設管理担当	3 人
利用者対応担当	2 人
植栽他管理業務	5 人
合計	13 人